



2026年6月16日

各位

会社名 株式会社TOKAIホールディングス
代表者名 代表取締役社長 小栗 勝男
(コード番号 3167 東証プライム市場)

TOKAIグループGX推進の取り組み事例

東海ガス、地域共創型カーボンオフセットで地域イベントのCO2ゼロ化を支援

当社の連結子会社で、都市ガス事業を営む東海ガス株式会社（本社：静岡県焼津市、代表取締役社長：山田潤一、以下「東海ガス」）が、グループ会社のT&Tエナジー株式会社と連携し、藤枝市主催「環境フェスタ“もったいない”2026 in ふじえだ・消費者フェア2026」会場で使用される電力について、トラッキング付き非化石証書を藤枝市に提供いたしました。本取り組みにより、イベント当日の電力のCO2排出量は実質ゼロとなります。詳細は、添付の東海ガスのプレスリリースをご参照ください。

当社グループは、5月に発表した「中期経営計画2028」において、「社会価値創造企業」への飛躍を掲げ、サステナビリティ戦略を積極的に推進しています。暮らしや社会を支える様々な事業活動を通じて、地域課題・社会課題・地球課題の解決を図りながら、企業価値の向上を目指しています。

その中で、気候変動対応においては、GX（グリーントランスフォーメーション）の取り組みを強化し、サプライチェーン全体の「環境価値創造」に貢献するとともに、当社グループの事業成長との両立を実現してまいります。

今回の東海ガスの非化石証書活用による地域イベントのカーボンオフセットは、当社グループが目指す地域の脱炭素化・持続可能な社会づくりの模範的な事例となります。今後も中期経営計画に基づき、脱炭素化や社会課題の解決に資する事業展開をグループ一丸となって推進してまいります。

以上

2026年6月16日

各位

東海ガス株式会社

藤枝市主催の環境イベント会場で使用する電力を非化石証書によりオフセット

当社では、地域社会の脱炭素化に積極的に取り組んでいます。今回、その一環として、藤枝市主催のイベント『環境フェスタ“もったいない”2026 in ふじえだ・消費者フェア 2026』で使用する電力に対して、当社グループのT&T エナジー株式会社を仲介し「非化石証書(トラッキング付き)」を藤枝市に販売しました。本証書の活用により、当イベントで使用した電力はCO₂排出量をゼロとみなすことができるようになります。当社は藤枝市のご要望に基づき、必要な調達量の算定から非化石証書の使用方法や注意点の説明、非化石証書の調達手配まで一貫して支援いたしました。

今回の非化石証書は、藤枝市の浄化センター由来のものであり、地域で生み出した環境価値を地域で活用する「地産地消型」のカーボンオフセットへの取り組みとして、次世代に豊かな環境を引き継ぐための持続可能な社会の実現に向けた重要な施策となっています。

今後も、非化石証書の活用拡大を図るとともに、地域や社会の課題解決に貢献できる商品・サービスの提供に積極的に取り組み、顧客満足度の向上に努めてまいります。

非化石価値約定量 : 1,000kWh (トラッキング付き非化石証書)

※トラッキング付き非化石証書 : 「どの発電所で・いつ・どのような電源で作られた電気か」という属性情報(トラッキング情報)が付与された非化石証書で、再エネ100%利用の証明やRE100対応などに使える環境価値証書のこと

お問い合わせ エネルギーソリューション部 担当:木村

TEL 054-647-7155



藤枝市イベントへの非化石証書活用について

◆ 藤枝市浄化センターにおける、バイオガス発電所（FIT由来）の環境価値を、トラッキング付き非化石証書として藤枝市のイベントで活用する。

>>> 環境価値の地産地消

